

東濃中部病院一部事務組合規約(案)に係る意見と分類出来ない意見

主なご意見

- ・今回の案件は、市民の生活に密接にかかわり、市の財政にも大きな負担となります。市民に分かりやすい丁寧な説明を行い、合意形成を慎重に行っていきますようお願いいたします。
- ・今回の瑞浪のパブコメに関して、今頃何？という感じがしてなりません。ネットのできない人は無視？でしょうか
- ・簡単なポスターを作ってこのような状況ですが皆さんの意見をいただきたくという趣旨で、東農厚生病院や個人病院の掲示板に貼って意見を入れる目安箱のようなものを作ってパブリックコメントを募集してはどうでしょうか。
- ・このようなコロナ禍でネット情報を取れる人だけに聞いているというパブコメの進め方も問題のように感じます。昭和病院の時代からずっとお世話になっている病院ですのでそれをどうする、どうしたいという内容はもっと市民の意見を聞くようにして進めてほしいと思います。
- ・市民の合意形成をしたうえで進められているとは思わないため、事務組合の設立自体もう少し後にすることが必要だと思います。
- ・パブリックコメントは、移転先の用地とこの事務組合へのものだけで、一病院化そのものに対してのものはありませんでした。
- ・議会等での審議はあったのかもしれませんが、市民への説明会や意見集約などの機会があったのでしょうか？市民の生活に関わるものでもあり、区長会などでの説明があっても良いのではないのでしょうか。
- ・市民の意見をしっかり集約し、説明責任を果たしたうえで進めていくことが必要だと思います。
- ・進捗状況が伝わってこない。
- ・市民へ経緯及び現状、今後の予定など分かり易く幅広く説明する責任があると思います。「組合規約」を作るのは時期尚早と考えます。

・1病院化する、土岐市に新しい病院が建設される、となった場合、考えられる瑞浪市民への影響(良い点も悪い点も)とその対策の公表

・大きな影響のひとつは交通アクセスの悪化だと思いますが、その具体的な対処方法を挙げるのが求められます。市民の利便性はもちろん、病院経営の安定化のためにも、駅から徒歩で行けないあの場所への交通手段の確保は明示・確約すべきです。

また、仮に新病院が400床以上の規模となれば、紹介状のない初診に対して選定療養費がかかる等、利便性悪化や金銭的負担の元にもなるでしょう。通院者はもちろん、救急利用者、通勤者や出入り業者、周辺道路利用者等にも影響が出ます。

その他に、どのような変化が考えられ、特にデメリットに関してはそれに対する調査・対策は講じられているのかを公表すべきだと思います。それが市民の安心感と信頼につながります。

・市民への周知を「いつ」「どのような方法で」行うのか、明示すべき

・今回問題となっているうちのひとつのは、市民に周知されていない、市民に理解を得ていない間に計画が進んでいる、ということです。コロナ禍で人を集めるのが困難だったという事情もわかりますが、動画配信や広報紙への詳細の掲載・折り込み、小規模の説明会の開催であれば可能であったかと思います。

ただ、今になってこうすべきだった、ああすべきだった、と言っても始まりませんので、今からでも市民の理解を得るため、最大限の努力をすべきではないでしょうか。

もちろん、県や国が絡んで、決定する期限が決められているものもあるでしょうし、期限を遅らせることが、結果的に市民のためにならない結論を招く可能性がある事柄もあるかもしれません。そうであれば、合理性のある説明をした上で、ある程度計画通り進めることも可能だと思います。

ただ、「期限があるから」「会議で決定しているから」で済ませることは避けるべきです。

・1月15日公開のQ&A上の「若い方に直接ご意見をうかがえる場も持ちたい」としてはいますが、具体的な方法は書かれていません。若い方々はもちろんのこと、市民全体への周知や意見聴取は、具体的に、いつ(何月に)どのように行うのか(説明会・討論会をする、ネット配信する等)、明示することが市民からの信頼に繋がります。

・一旦足を止めて、これまでの計画について検証し、問題点を抽出し、市民の意見を聞き、必要に応じて説明を行う、第三者による委員会を

設置してはどうでしょうか。その検証の上で1病院化や土岐市に新病院を設置することに合理性ありとなれば、たとえ同じ結果になろうとも、現状を把握し議論をつくすことで市民からの理解を得られ、結果的には今後スムーズに計画が進むことにもなると思います。

・一病院化のことは市民は知らないなので、規約を作る前にやることもある。市民の意見をよく聞いてください。

・厚生病院の件は市民の将来にとって とても大事なことだと思います。今の現状では、とても透明性のある議論がなされているとは思えません。もっと市民の声をよく聞いて、市の方針もしっかりと市民に説明をしながら 市民の生活に密着する話しですから、時間をかけて透明性のある議論をして 市民にとっていい方向にもっていけるような市政をしていただきたいです。

・事務組合規約に対する意見募集という事ですが、新しい病院の必要性や目的が市民に十分説明されているのでしょうか？本意見の募集概要で、「医師不足や人口減少に適切に対応するため、2次病院(急性期・救急病院)の1病院化を進めています。」となっていますが、どれ程の市民が理解しているのでしょうか？疑問に思えます。また、候補地が土岐市で進められているようですが、瑞浪からどのような案が出されたのか？それぞれの案のメリット・デメリットは何か？これらを横並びにして、なるほどこれが最善ですね。最善とまで言えないが、やむを得ない選択だな。と市民が思えるようにして頂きたいです。候補地に限らず、検討内容、過程をオープンにしなければ、不便になった人たちは納得が出来ず禍根が残ると思います。このような意見募集があることすら、どれ程の市民が知っているかも疑問です。また、大病院になり、初診再診の診察料が上がるとの噂が聞こえてきます。噂で不安が煽られることが無いためにも、積極的な情報発信をお願いします。東濃中部病院設立関係者の皆さんは、大変なご苦労かと思いますが宜しくお願い致します。

・新病院の建設地が土岐市肥田町とのことを少し前に知りましたが、その結論に至った経緯、協議の内容について知りたいです。新病院を土岐市ではなく、瑞浪市内で移転(候補地、交渉の内容)もしくは増築する等瑞浪市としてどのような選択肢を模索し、土岐市とどのように協議したのか。瑞浪市民にとって東濃厚生病院が無くなることは大きな損失であり、瑞浪市民のためのどのように真剣な話し合いがなされたのか。市民に対して、積極的に状況を説明し、意見を求めるなどの姿勢がみられなかったことを非常に残念に思います。

・組合規約を作る前に、瑞浪市民にもっと詳しく説明がなされるべきだと思います。

・少子高齢化の時代に、厚生病院の移転に対して不安を感じ、また、町の価値が下がる事により飲食店事業にも影響がある。どうしようも出来

ない事も多々あると思いますが、そのことも理解を深め、進んでいくことを希望します。これからの世代の為に。

・まず、一病院化した後の組合規約案について、規約を作る以前にすべきことがあるように思えます。土岐市立総合病院と東濃厚生病院の一病院化について市民への周知はできているのでしょうか。「一病院化に関する Q&A」にて最後の部分に「パブリックコメントを通してのご意見とともに、直接ご意見をうかがえる場を持ちたいと思います」とありますが、それは行われましたか。自分の記憶が正しければ、そういった機会は無かったと思います。多くの市民が厚生病院が瑞浪市からなくなって初めて一病院化の話を知る、ということも現状では大いに有り得ると思います。

こういった情報の市民への周知と理解を得られた後に、一病院化、その組合規約、といった風に話が進んでいく事が好ましいと一市民の立場として考えます。また、具体的な内容の乏しい「一病院化に関する Q&A」で、市民への情報の周知と理解が得られたと捉えられても困ります。

各地域での説明会、公開討論会、それらのネット配信・文章化した物の広報への掲載等、情報の周知と理解を得るための方法は沢山あると思います。大変な仕事量になると思いますが、是非とも行って頂きたいと思います。

・一病院化することで私達瑞浪市民が不便になり又経済にも損失大のように思えてなりません。

組合規約(案)についての意見提出の前に一市民として納得のいく説明がほしいです。

・病院の立地や、一病院化について市民に対して説明・周知されないまま、組合規約を作るのは、おかしいと思います
まずは市民にしっかりと説明をし、納得してもらうことの方が先だと思います

・最近 急に病院の統合化の説明が小出しに出され始めました。

東濃厚生病院と土岐総合病院の一病院化の議論が、瑞浪市民のほとんどが知らない間に瑞浪市・土岐市の一部職員と厚生連とで決まってしまうことは大きな問題です。

将来へ大きな禍根を残すこととなります。

東濃厚生病院は70年以上に亘って瑞浪市の中心で市民や郊外の方たちにとって医療の要でした。瑞浪市民にとっては空気のような存在だと思います。

現在のコロナ禍では特にそのように思います。

瑞浪市は東濃厚生病院と長年にわたり共存してきたところ、土岐市の土岐総合病院の存続問題の発生により、「軒を貸して母屋を取られる」かのように病院の統合化の議論が進められているように思います。

規約案の中で役職等は土岐市が主 瑞浪市が従というような立場も、瑞浪市の担当者は瑞浪市民の立場で瑞浪市民のことを考えて対応しているとは思えません。

少子高齢化と人口減少に苦しむ瑞浪市が負の要因を積み上げることは間違いです。

総合病院も無いような瑞浪市に誰が引越してくるでしょうか。

統合すれば診療科目が増えるという方もありますが、身近でなかったら(通院・治療等が「遠くなって不便となつては」本末転倒です。

統合された病院の完成する頃には団塊世代も80歳台となっているでしょう。

瑞浪市民にとって命にも係わる東濃厚生病院の統合・移転は改めて瑞浪市民による住民投票や市議会での熟慮ある開かれた議事を経てから再考すべきだと思います。

気がついたら瑞浪市には総合病院も無い、転入する人も無い、買い物する店舗も撤退してしまつて無い、瑞浪市が単独市として成立しないようになってしまわない施策を考えるべきだと思います。

・病院の立地、一病院化について情報が一般に浸透しているとは言い難く、もう少し、丁寧且つ慎重な立案をされた方が良いのでは無いでしょうか。一方でデメリットだけで無くメリットがあつて行政の方も動かれている事から、メリットについての説明も丁寧に行われるべきだと思います。

・以前から厚生病院と土岐市総合病院が一体化する噂は聞いていましたが、あくまで噂でした。それがもう決まつたような話を聞き驚きました。実家の家族(瑞浪市在住)は誰ひとり知らず本当に「寝耳に水」でした。これは私の家族だけでなく多くの友人もそうでした。日本は民主主義の国です。もちろん全員一致は無理でも過半数の賛成は絶対です。知らない人がいる時点で問題外です。まずは市民にきちんと報告し住民の声を聞くことからやりなおすべきだと思います。デメリット・メリットを伝える事は大切です。

人はついついメリットだけに心を奪われますが、メリットの後にある大きなデメリットの方が本当は貴重です。10年後、20年後の未来はもちろんですが、今ここで生活している人を大切にしない限り未来なんてないと思います。

まずはもう一度市民に対して地域説明会、意見交換会を行うべき。コロナ禍でムリというならば、この計画そのものも、コロナが落ちつくまでStopすべきです。人はいつも相手の立場になって考えてみると小さい頃から学んでいます。

・病院を1本にすることに対して市民は何も知りませんでした。何も知らされていない、1本化にすることで発生する問題、その問題について、市民が理解、納得するような解決策も掲示されていない、など基本的な大切な作業ができていないと思います。

・今現在、コロナ禍において非常事態宣言の中、市民が緊張状態にあり、救急医療体制も全国的に非常に逼迫している時に進めることではないと思います。

・まず、市民の理解を得る努力、意見を聞く努力等をすべきだと思います。

・一度立ち止まって、考えて下さい。
なので、規約の議論は、まだすべきではないと思います。

・正直、規約ができるほど話が進んでいる事も私は知りませんでした。
瑞浪市民のどれだけの人が今の状況を知っているのでしょうか？

・私は1病院化には賛成です。現状、医師不足や人口減少が起こってしまっており、この先改善するのも難しいと思います。今合併しなくても、いずれは1病院化せざるを得ないでしょう。ただ、瑞浪市民として土岐市主導な感じで進められている事は納得できません。

・コロナ禍であり、当初の状況とは変わっています。PCR 検査や陽性の患者さんの入院など、今後もめまぐるしく変化していくと思われる中で、1病院化の進め方について今一度市民の意見に耳を傾けて頂き、検討し直す必要があると思います。この規約を6月から施行するのは時期尚早だと私は考えます。

・一病院化に関する Q&A で、「現状のままではともに経営が立ち行かなくなる」との趣旨が述べられていますが、大きな投資 をすることと、両市にとっても現状より不便 な場所となり、患者数の減少によって経営が悪化することはないでしょう か。

・より高度な医療は必要だと思いますが、瑞浪市にとって現在の東農厚生病院でも充実できると思います。新たな病院を作らなくても、現状のところでも十分な投資を行う事でより高度な医療を進めている病院はいくつもあります。(福島県会津若松市 竹田病院等

・医師の確保についても深刻な問題ではありますが、一病院化で進むことのエビデンスはあるのでしょうか？ 安定した経営と設備などの問題であり、経営 努力、営業努力の問題ではないのでしょうか？ それがないと、一病院化しても現状は変わらないのでは？

・「一病院化は、大学の医局に対して大きなアピールになる」とありますが、よほどの大病院でない とそのインパクトはありません。今回は、400床程度を想定されていますが、大病院の基準が500床以上から400床以上へと引き下げられたのですが、大規模 な病院 は500 床以上であり、土岐市 瑞浪市の規模からして、400床以上の大きな病院は必要ないと思います。結果的 に400 床以下の中途半端な病院 となり、経営効率は良くならなくて、共倒れになる可能性 もあります。

・瑞浪市の財政的な心配はないでしょうか？ 東農厚生病院 が移転することで、病院や薬局などからの税収入が減ってしまうのではないのでしょうか？ 一病院化で瑞浪市の負担が増えるが、市民にとっての医療が充実すればよいのですが、公開されているものからはそのエビデンスが見当たりません。

そもそも、一病院化の具体像があまり明確になっていないように思えます。構想を進めるなかで、その目的のために病床数や設備などの費用が増えていき、案分とは言っても小さな規模の瑞浪市にとって大きな負担となり、市民に対するサービスが低下することが心配です。

・病院移転は、土岐市の病院経営が悪く、仮に土岐市が採算が合っていて、東農厚生が赤字とした場合に、土岐市が主張する医師確保を理由に合併を申し出たとは到底考えられない。

いずれにしても、瑞浪市民への周知度や、パブコメで出された疑問等にまともに答えていない状況下において、市民の理解など得られるはずもなく、組合設立などを議論する段階ではない。

・時期尚早と言うよりも、組合設立を言い出す事すら不遜である。

・立地や瑞浪市の負担など、知らないところで決まっている。私たちが知る時にはほぼ決定状態で、それをひるがえすことは難しいということでは困る。情報を集めない市民が悪いという言い分もあるかもしれないが、広報や新聞、市議員を使って本気で情報を公開することはできないのでしょうか。瑞浪市の将来を左右する大きなことです。どこも、大きな病院は山の上にある。駅近くにあるのは大きな財産である。コンパクトシティにしていかなければ市は成り立たないと思います。駅を中心とした開発は必須。本気で駅前開発と病院移転を考えれば、駅前または駅裏に病院を持ってくるといふ提案はなかったのか。難しいのはわかるが、出来なのではなく、やろうと本気で汗をかく人がいないのではないか。

・土岐に行くのは大反対。

・病院移転反対。

・瑞浪に住んで80年。時代は変わりましたが、変わらないのは駅と病院でした。まちの中に病院があるのが自慢でした。土岐市駅か瑞浪駅の近くに病院があると便利で安心です。全員が車でないと行けないような場所は困ります。長い目でみて欲しいです。車の人、自転車の人、歩く人、色々な人が行ける場所がいいです。

・病院が近くにないと困る

・一部事務組合理約の検討以前に、1病院化自体を再検討してください。

1、瑞浪市民の医療を守るため総合病院としての東濃厚生病院は必要です。

瑞浪市、中心部には様々な科の個人病院がありますが、釜戸、日吉、陶には個人病院もほとんどない状態です。車で行けない人はバスを利用し、厚生病院で多様な診療科を受診しています。病院受診する人は高齢者が多く、交通弱者が多くなるので、バスで行けて、1病院でいくつかの科を受診出来る東濃厚生病院を頼りにしています。土岐市に移ったらどうやって医者に通えばよいのか、高齢者のほとんどが1病院化に反対です。

たとえバス等アクセスを整備しても瑞浪市からの通院が不便になることは必至です。土岐市に総合病院が移れば、一次病院からの紹介や検査も負担になります。病気を抱えた人や高齢者にとって遠方に出向くことは、それ自体負担が大きく、受診が遠のいて病気を悪化させることも考えられます。

公的病院が充実した地域は病状の悪化を防ぐので医療費のコントロールが出来ているそうです。高齢になっても安心でき、重症化を防ぐためにも東濃厚生病院を総合病院として残してください。

2、瑞浪市の経済の疲弊を防ぎ人口減少を防ぐために総合病院を残してください。

東農厚生病院には瑞浪市民だけでなく恵那市、土岐市からも毎日多くの人が訪れます。医師、看護師、その他関係者たくさんの方が働いています。

瑞浪市への経済効果は大きなものがあり、厚生病院の総合病院としての機能が無くなれば市の経済活動にも大きな損失となります。

また、瑞浪市は大都市名古屋に近く、中央線の便も良い利点がありますが、総合病院が無くなってしまうと、若い人も子育てしにくく移住・定住の魅力が半減してしまいます。

3、土岐市への新病院建設は瑞浪市民の信託を得ていません。市財政を圧迫し瑞浪市民にメリットは少ない新病院建設に反対です。

土岐市肥田町浅野の市有地が候補地となっていますが、土地整備費、アクセス道路等工事費、建設費、設備費などのぐらにかかるか国・県の交付金はいくらか、土岐市、瑞浪市の負担割合はどうなるのか、何も明らかにされていません。

将来の市民がどのくらい借金を背負うことになるのか、何も市民に知らされないまま市長等一部の上層部の考えだけで1病院化が進められてきました。

東濃厚生病院が廃止になる計画を、ほとんどの市民は、存続を求める市民の会の広報活動で初めて知ったと言われました。

JAの東濃厚生病院はもともと大都市でない、地域農民を中心とした地域住民の医療を守るために作られました。瑞浪市も現病院建設に9億円、毎年6千万円を補助してきた瑞浪市の唯一の公的総合病院です。

医療提供体制審議会でも意見が出されたように、計画を市民に広く知らせ、市民の意向を問うべきです。

多額の借金をしてまで土岐市に新病院を作り、瑞浪には総合病院が無くなり、不便を強いられ、借金のため市のサービスが削られてしまう、そのような1病院化には絶対反対です。

4、コロナ禍であきらかになった医療の重要性からも1病院化に反対です。

瑞浪市には入院できる病院は東濃厚生病院、瑞浪病院、塚田レディースクリニックだけです。現在、東濃厚生病院が270床、土岐市立総合病院が350床、合計670床ですが1病院化で400床に削減されれば病床が減るだけでなく必要な医師看護師も減らされてしまいます。

国が求める急性期医療の削減は医師、看護師の削減に直結します。

消防署や警察署が火事や犯罪がないから減らすことにならないのと同じで、病床が余っていても地域医療を守るために、災害や感染症の非常事態に備えるためにも、瑞浪市から総合病院が無くなることに反対です。

土岐、瑞浪地域、人口約10万人の地域に1病院しかなくなればその病院が何らかの事情で機能しなくなった時、市民の命は守れません。

東濃厚生病院は産婦人科や小児科も充実させていこうとしています。今ある建物、人材、設備をなぜなくそうとするのでしょうか。

東濃厚生病院を廃止することは瑞浪市民だけでなく、恵那市、土岐市民にとっても大きな損失です。

・ 86歳の実母を看ています。陶在住ですが、陶町の病院では無理(現在開業医院があるかも知らないですが)なので、ずっと厚生病院にお世話になっています。

新しく総合病院ができるのは大歓迎です。瑞浪市内の人が多治見県病院や名大病院に行かなくても土岐市で診てもらえるのは、良いことだと思います。ただ現在、病院に（東濃厚生病院に）通院してみえるお年寄りも、現在の状況でも満足してみえると思います。厚生病院から紹介状を出してもらって、先進医療を必要とされる方は何%でしょうか。そんなに多くないと思うのですが。

私が一番望むのは、現状プラス、総合病院の建設です。多額の資金が必要だとは思いますが、瑞浪市にお金はないと聞いていますが、予算のみなおしは無理でしょうか？ 予算のみなおしで、なんとか厚生病院を残していただけたらと思います。私個人としては明確な納得いく予算、税金なら市民として、徴収されてもいいです。ただ、現状より不便になり、税金もあがるなら、やはり今のままがいいです。

・1病院化され、東濃厚生病院が（少なくとも今の規模では）残らない方向に進んでいることを知った多くの市民は、「厚生病院はなくなっちゃうの？」という不安を抱えています。まずは、この不安を解消する/和らげる方針を打ち立てて行くことが大切だと思います。

・1月15日公開 Q&A では、市としては、『「JA 岐阜厚生連」に対し、一次医療機能（クリニック機能）の継続及び、福祉・介護施設等としての活用を強く要望しているところ』だとの回答でしたが、どのような内容で要望されているのでしょうか。厚生連としても、ただ残してほしいというだけでは足りず、人的、金銭的に限らず様々な援助を求められることと思います。これに生じる費用は組合費用から拠出されるのでしょうか。また、医師不足を1病院化の理由のひとつに挙げていますが、跡地利用の小規模な病院に十分な数の医師を招聘することは本当に出来るのか、この辺りは楽観視せず、厚生連と一緒に慎重に詰めていくべきです。

いずれにしても、別の場所に新病院が建設されるのであれば、「厚生病院の跡地に病院機能を残すこと」は市民に対して確約されるべき案件だと思います。

もちろん、厚生病院（現在築 15 年）を必要に応じて増築改修や診療科等の見直しを図った上で二次医療を継続する、という選択肢もまだ残されています。

・どんな病院を目指すか、ビジョンを持つことが必要。病院経営専門家の声を聞くこと。

「地域医療を守り、効率的で、質の高い医療提供体制を確保」するには、そもそも 400 床必要なのか？ 400 床あれば本当に医師を招聘できるのか？ 莫大な費用をかけて本当に新設が必要なのか？ 病院として他と差別化できる魅力を出せないのか？ 等、素人目線ですがいろいろな疑問が浮かびます。

土岐市は（少なくとも瑞浪市よりは）病院経営のノウハウをお持ちかもしれませんが、実際毎年億単位の赤字を出していることから、同じような

考え方や手法では、新病院もたちまち立ち行かなくなるのではと懸念します。

このようなことについては、第三者的な立場の病院経営の専門家を交え、医師不足対策、診療科の選定、経営安定化等について、設立前の段階から助言を受けることが必須だと思います。

これから30年先、40年先を見据えて、経営が成り立つ病院にするには、やみくもに新病院建設を急ぐのではなく、しっかりと策を練った上で進めるべきではないでしょうか。

・これまで重ねて来た会議を否定したり両市の関係を悪くしたりする意図はありません。また、市民のこと、病院経営のこと、地域経済のこと等多方面から考えて結論を出すことは容易ではないとも理解しています。ただ、1病院化ありき、統合ありきで話を進めるのではなく、きちんとその合理性を検討した上で、市民と共に瑞浪市の将来像を描くことができたらと思います。

瑞浪市が、今もこれからも、若者たちが住みたいと思う街、帰りたくなる街、市民が安心して心豊かに暮らせる街であって欲しいです。

この病院の件に限らず、隣市や周辺地域と連携し、議論を重ね、より良いまちづくりが進められることを願っています。

・負担金割合は、瑞浪市民にデメリットの開示とその対策を具体的に示し、その理解が「統計的に有意性が確認できた上」で初めて議題とする。それができるまでは、組合設立云々の話は持ち出さない。

*市報に出したとか、HPに出したとか質疑応答の無い一方的な通知はだめ。

・以下の解決策が市民に具体的に示せるまでは、市議会での組合設立の議論も取り上げるべきではなく、勿論万が一あったとしても承認はしない。

①瑞浪市の通院弱者への配慮と個人の経済的負担の対策

②明らかに予測される瑞浪市の人口減少とその対策

③救急車の増車・増員予測とその予算手当

④交流人口の減少による地域経済への影響と対策

⑤跡地利用

⑥瑞浪市の魅力減少の対策

⑦総合病院がなくなることに対する安心・安全の確保

⑧その他

なお、上記全てが確実に市民目線でできたことが大前提で、

①議員には市議会が推薦する民間から1又は2人を加えること。

②最低限、東濃厚生の跡地利用と土岐総合の資産勘定分の供出をどうするかを決める事無く負担割合は求めない。

なお、水野市長のスローガンは、「市民が主役」と信じているが、この病院移転に関して言えば、主役は土岐市と厚生連、脇役が瑞浪市、観客は市議と評議員。

瑞浪市民は劇場にも入れていない。しかも第一幕は終わってしまった。

市民が主役になれるよう双方向での Youtube 等を利用した質疑応答を公開した説明会を強くお願いします。

1、市民が長い月日をかけ、その地域の財産とも言える空気や水や土や森などの自然環境上下水道や道路等の社会的インフラ、教育や医療等の制度資本が整って、我々は安心安全に生活できます。特に医療は重要です。その地域で何十年も根付いてきた病院の移転は無くなってから重要さが身に染みてわかる云わく空気のようなものだと言えます。

問題が起こってからでは取り返しがつかない事項です。例として以前全国に 848 か所 あった保健所が昨年度 469 か所となりました。そんな折に狙いすましたような今回のコロナ騒ぎです。保健所数の減で全て対処が遅れたとは言えませんが、大きな要因です。

2、統合後の病院に何らかの原因によるシステムダウンや、今回のような感染症によるクラスター発生。等々の事態を予想すれば、今後は統合よりは分散の方向ではないかと考えます。

3、ここで質問ですが、統合先は土岐市のみなののでしょうか、瑞浪を取り巻く市町村とも協議は行われたのでしょうか。市民を考えれば、周辺の自治体に協議に加わってもらったら如何でしょうか。

協議会・審議会のみならず、組合まで土岐市の主導で進められ(議事録や色んな方からのヒアリングで感じます)、瑞浪市の立場はこのままで良いわけがないと思います。今は正直悲しい気持ちです(勘違いがあれば謝罪して訂正します)。

瑞浪出身者として地元の友人の話を聞く限り、病院統合賛否の前に、病院統合の話そのものを知らない人が大多数とのこと。このことから、統合を前提として話を進めるのは時期尚早だと思う。特に、新型コロナウイルスで医療体制がひっ迫している時期に進めること自体がおかしい。まずは、「病院統合」に対する市民の意見を聞くべきである。特に、自分たちの命とお金に関わることとして、関心が低いとは思えない。

当然、市民としては東濃厚生病院がなくなること自体に反対するであろうが、統合を進める以上は、市内から病院を無くしてまで、市として何をしたいのか、どんな将来を作るのか、病院が無くなることの不便をどのように補うのかを明確にすべきである。

今後、人口が減少し、同時に高齢化が進むわけだから、瑞浪市が立ち行かなくなる可能性も大きい。それが 20 年後なのか、30 年後なのかはよく知らないが、人口は半減、生産人口は 1/4 程度になるであろう。その時に向けて、つまり、「市としての終わりを迎える時期」に対して、現

在、病院を整理することが必要であるのであれば、それはそれとしてはっきり伝えるべきではないでしょうか。

現在の様子を見ると、土岐市の「言うがまま」のようである。土岐の総合病院の経営失敗が原因であるにも関わらず、瑞浪から病院が無くなるというのは明らかにおかしい。病院経営から見れば、土岐市の病院を廃止し、東濃厚生病院に一本化の方が合理的である。となると、土岐市に決定したのは、瑞浪より土岐市が人口が多くて金も持っていることしかない。といっても、経営能力が無いのであれば、疑問である。さらに、人口減少・高齢化によって縮小していくのは隣の土岐市も同じである。これらを見越した計画であるとは到底思えない。

そのような状態で、本当に大丈夫でしょうか？

- ・東濃厚生病院の跡地をどうするか、不便になった通院をどうするか、 など、市民が納得できる対策をきちんとしてほしいと思う。

この病院の統合を将来の土岐市と瑞浪市の合併に結び付けて考えているなら、現在の状態はとても良い状態ではありません。最初に述べた行政への不信感の助長が第一点です。第二点としては、合併による地域格差の助長という合併の暗の部分より浮彫りにしているからです。

行政は市民のためにあります。行政の効率化は行政のためではなく市民のためにすべきことです。一部の市民や市民全体に負担をかける効率化は本末転倒です。そしてすべての市民に平等にというのは掛け声や建前ではなく達成すべき目標であると肝に銘じて事を運んでください。

ちなみに私は、合併が地方自治体の生き残りの特効薬かつ切り札であることは認めますが、この達成すべき目標を含め市民の幸せ実現のためには最後の手段としてとっておいて、他の手段でまずは努力すべきだと思います。専門家ではないので断言はできませんが、まだ最後の切り札を使う段階ではないと感じるからです。現状維持の切り札として合併を行っても現状維持ではなく一時的延命になるだけだと思います。

建設予定候補地まで提示されている段階で、委員会設立に関するパブリックコメントを募集するのはとても変です。行政的手続きに乗っ取って形式に行われていることだと判断されても全くおかしくありません。これは市民の行政への不信を助長するものだと思います。

まず、この二つの病院の統合についてですが、もし土岐総合病院の経営が健全な状態なら現段階で出てこない話です。現段階で統合をとっても必要としているのは土岐市であり、瑞浪市でも東濃厚生病院でも土岐市民でも瑞浪市民でもなく、土岐市です。将来必要になるであろうというのは非常に理解できる要素ではありますが、将来の可能性云々ではなく、まさに現段階の現実として必要としているのは土岐市のみです。

- ・東濃厚生病院がなくなった後、市として住民に対しどのような医療サービスを考えているのか、規約作成の前に教えていただきたいです。

・土岐市民病院が赤字で、岐阜厚生連に経営委託されたように聞きました。統一新病院は、土岐市にとっては利益だけで、東濃厚生病院は黒字経営されているようなので、東濃厚生病院を閉鎖移転は、瑞浪にとって不利益しかありません。規約を考える前に、することがあると思います。

現在は神奈川県在住ですが、リタイヤ後生まれ育った瑞浪への移住を考えておりますので、東濃厚生病院(昭和病院)の移転に関して意見募集とのことですので、意見を述べさせていただきたいと思います。

東濃中部病院事務組合理約(案)についてとのことですが、そもそもこの病院統一化について、市民への周知がされておらず、土岐市主導ですすんでいっているのは問題があると思います。

土岐市民病院が赤字で、岐阜厚生連に経営委託されたように聞きました。統一新病院は、土岐市にとっては利益だけで、東濃厚生病院は黒字経営されているようなので、東濃厚生病院を閉鎖移転は、瑞浪にとって不利益しかありません。規約を考える前に、することがあると思います。

考えられる不利益は以下の通り。

1,経済的負担

特に病院に付き添いが多い働く主婦などの交通費と時給。車で移動する人は、ガソリン代。働いている人は、本人、家族の付き添い共に会社を休む事による減収。

2,高齢者の負担。

車を持たない高齢者(免許を返上した位のお年寄り)のタクシー代。

3、救急車に関して

救急患者を東濃厚生病院に運ぶのと、土岐市まで運ぶのでは、時間が10数分から20分近く違うのでは、ないでしょうか。1分1秒を争う急患の場合は、助かる命も助かりません。

4、流入人口減少による税収減少

東濃厚生病院がなくなると、私もそうですが、瑞浪へUターンするのに躊躇します。ましてや、若者にとって総合病院が隣の市にいかないとないうちに住んで、子供を育てたいとは、思いつらいと思います。これでは、人口は減るばかりでしょう。

見聞きした話だけで、書いておりますので、事実誤認とうあるかもしれませんが、市民の知らない間に、勝手に話がすすんで、土岐市肥田に移転することに決まりました。では済まない話だと思います。今一度、土岐市民病院と東濃厚生病院が合併移転する必要があるのかから、考え直すべきではないでしょうか。

・国の政策かもしれませんが、それはコロナ以前の話です。このような世界的なパンデミックの中、果たしてこのまま話が進んでいいのでしょうか。やはり瑞浪市民に時間をかけて説明し、納得がいくまで議論すべきだと思います。

前回 の意見書提出 から今日 までに思った こと・感じたこと・考えたこと 1月 22 日審議会 とその後の新聞記事等

- ・「異議 なし」・・・ 多くの意見書 の声(真意) は理解 して いただい たよう ですが、少し残念でした。
 - ・「説明不足だった 。今後はより丁寧に」・ ありがたいお言葉です。是非お願いいたします。
 - ・「 候補地は土岐市がやはり最適」・ 適切な報道なのか。その根拠 はどこに。少し歪曲していないだろう か。住民 (特に瑞浪市民)がどう感じたろうか。一病院化 という 案件 に関して
 - ・両市民 の認知度 ・理解度 ・納得度 はどこまで上がった のか。
 - ・両市民 にとって のメリット・ デメリット は明確 になった のか。
 - ・そもそも工程表(ロードマップ) やその進捗管理(KPI)はどう なっているのだろう か。
 - ・わからない ことがまだまだ多いので、やはり一 つつ丁寧 な説明 が必要
- * 審議会 は今後 も継続 して存続 するのでしょうか。1月 22 日厚労省「地域医療構想の実現に向けた重点支援区域の 3 回目の選定について」地域医療構想の実現に向けた重点支援区域の 3 回目の選定について | 厚生労働省(mhlw.go.
- ・山形県 置賜区域 とともに「 東濃区域(土岐市立総合病院、岐阜県厚生農業協同組合連合会 東濃中部医療センター 東濃厚生病院) 」が選定されました。審議会と同じ日に・・・。
 - ・国による助言 や集中的 な支援 を得られることになりましたが、やはり基本的に大切 なことは、最終判断・ 結論は、あくまでも地域住民地域住民の自主的 な議論 によるべきであるということだと思います。

前回の「一病院化による新病院の建設候補地について」と今回の「東濃中部病院事務組合規約(案)」の意見募集を拝見して感じる違和感 は、もちろん自身の認識不足もありますが、日々の暮らしに追われて、まちの将来や医療のあり方、暮らしのあり様について、市民の意見交換 やコンセンサス形成が不十分なまま、土地や採算性、運営方法といった各論が問われているように感じられる点にあります。まちづくり協議会

等が機能できるといいのですが。

高齢者となり将来の親の介護や自身の健康について思う時、地元には東濃厚生病院があることの安心感は大きいものがあります。高度医療や診療科の充実、少子高齢化が進む中での採算性確保の必要性は理解できますが、「総合病院の一病院化」には「無医村」的なマイナスイメージがぬぐえません。ぜひ東濃厚生病院も何らかの形で存続をお願いしたいと思います。

特に昨今のコロナ禍で、これまで採算性と効率を優先して全国的に進められてきた自治体合併や、保健所・病院の統廃合が、市民の命と暮らしを守るうえで危機を招いている現状を鑑みると、無駄なようでも余裕のある医療・福祉体制の充実、住みよい街・幸せな暮らしに不可欠な要素です。もちろん財政基盤が弱い瑞浪市単独で解決できる問題ではありません。

そもそも医療や介護福祉・教育といった公共分野は採算性になじまず、行政の公的サービスがより充実されるべきであり、国の厚生労働行政のあり様も転換が問われています。

とりあえず、今回の身近な総合病院の統合問題を契機に、私たち市民が、瑞浪市の現状と将来像に関心を持ち、行政や医療等各界関係者の方とも意見交換しながら、自分自身の問題として考え合意形成していく機会となることを願います。不十分な情報や知識で具体的な作業が進行し、あとから後悔や不満が噴き出すことの無いよう、大変な労力かとは思いますが、情報提供と反復周知、意見交換と合意形成の場の創出に、ご配慮を頂ければと思います。

- ・東濃厚生病院の跡地をどうするか、不便になった通院をどうするかなど、市民が納得できる対策をきちんとして欲しいと思う。
- ・一病院化の意見募集から、今回の規約案についても同様なのですが、基本的に土岐市にメリットが大きく瑞浪市にはデメリットが目立つと言った内容に感じます。
一病院化から続く話の、瑞浪市民にとってのメリット・デメリットを具体的且つ明確にし、それを徹底的に周知し場合によっては根気よく説得していく。そういうことの後に話を進めていって頂きたいと切に願っています。
- ・コロナ禍であり、当初の状況とは変わっています。PCR 検査や陽性の患者さんの入院など、今後もめまぐるしく変化していくと思われる中で、1病院化の進め方について今一度市民の意見に耳を傾けて頂き、検討し直す必要があると思います。この規約を6月から施行するのは時期尚早だと私は考えます。
- ・1月23日の中日新聞報道により新病院候補地が審議会です承されたとの報道を読みました以下、私の感じたことを述べます。

- 1 今までの経過報告が市民に周知されていない。
- 2 土岐総合病院の赤字解消、救済に瑞浪市が利用されたのではないか
- 3 東濃厚生病院は、準市民病院的なものであり経営は安定しているのではないか
- 4 統合新設により、市民負担が増えるのではないか 概算建設費用は、いくらになるか
- 5 土岐市肥田地区で新設となれば、アクセスをどのように考えておられるのか
- 6 市議会議員から、統合についての話を聞いたことがない。あまりにも説明不足ではないか
- 7 市民への経過報告を、定期的にしてくださるよう望みます。

今回の病院統合の件について、瑞浪市民への情報開示は随時行われていたのでしょうか。私の情報不足は否認ませんが、他の瑞浪市民と話をしても多くの方が私と同様の程度です。先週新聞で読み、多くの市民が驚きを隠せない状況です。パブリックコメントとは常に公平で平等ではないのでしょうか。なぜ統合されなくてはならないのか。土岐市の現状と瑞浪市の現状の説明も必要だと思います。理由も分からないまま、いつの間にかこの東濃中部病院事業組合の規約が案として存在し、施行が今年の6月になっています。東濃厚生病院は統合が必要なほど経営悪化しているのでしょうか。たくさんのなぜと、病院を利用する市民が置き去りになり、両市のトップ及び一部の市民の方々で進んでしまっているように思います。病院統合と瑞浪市から総合病院が消えることにたくさんの不安があります。

- ①総合病院がないという不安から人口減少に拍車がかかる。
- ②気軽に通えた総合病院が遠くなることにより、通院したくても回数が減り命に係わる事態を懸念せざるを得ない。
- ③新しく統合される病院で産婦人科は新設されるのかどうか。

人口減少を食い止めるのに産婦人科は必須だと思います。

- ④地域企業については、求人採用において市外からの転入の際、総合病院がないという点で、求人活動にデメリットになりかねません。市は、市民へ経緯及び現状、今後の予定など分かりやすく幅広く説明する責任があると思います。最後に「組合規約」を作るのは時期尚早と考えます。